

宇宙を探究し、 未来を創る。

～人工衛星から社会課題の解決へ～

1年次の探究

「探究」とは何か
自分自身を深く知る
自分自身を深く探る

石下紫峰高校 1年次の「総合的な探究の時間」

宇宙・人工衛星をテーマに、身近な生活や社会課題とつなげて探究します。
自ら課題を見つけ、情報を収集・分析し、仲間と協働しながら解決策を考え、
その成果を発表します。

探究のプロセス

① 導入 探究とは何かを知る



探究の目的や進め方を学び、
宇宙・人工衛星の世界に
ふれます。

② 課題設定 課題を見つける



人工衛星と私たちの暮らしの
つながりを知り、社会課題から
探究テーマを選びます。

③ 情報収集 情報を集める



「すららSatellyzer」などの
ICTツールを活用し、
多様な情報を収集します。

④ 整理・分析 情報を整理・分析する



集めた情報を整理・比較・分析し、
課題の原因や本質を
多角的に考えます。

⑤ 解決策の構想 解決策を考える



人工衛星ができることを考え、
解決策を具体化し、構想を
まとめます。

⑥ 構想・表現 伝え、共有する



探究の成果を発表し、
仲間と共有することで、
学びを深めます。

⑦ 省察・振り返り 次の学びへつなげる



探究の過程を振り返り、
改善点や新たな課題を見つけて、
次の学びにつなげます。

この探究で 育てたい力



主体性・探究心
自ら問いを立て、
主体的に学ぶ力



課題発見力
課題を見つけ、
解決につなげる力



情報活用力
ICTを活用して
情報を収集・分析する力



協働力・コミュニケーション力
多様な人と協働し、
考えを伝え合う力



表現力・発信力
自分の考えを
わかりやすく伝える力



省察力・自己調整力
振り返り、学びを
次につなげる力

宇宙をきっかけに、社会を見つめ、未来をつくる力を育てます。



茨城県立石下紫峰高等学校

宇宙を探究し、 未来を創る。

～人工衛星から社会課題の解決へ～

石下紫峰高校 2年次の「総合的な探究の時間」

宇宙・人工衛星をテーマに、身近な生活や社会課題とつなげて探究します。
自ら課題を見つけ、情報を収集・分析し、仲間と協働しながら解決策を考え、
その成果を発表します。

2年次の探究

より深く、より広く、
課題解決に向けて
探究を発展させる

探究のプロセス (2年次)

① 導入

探究とは何かを知る



探究の目的や進め方を学び、
宇宙・人工衛星の世界に
ふれます。

② 課題意識

課題を見つける



宇宙・人工衛星を題材に、
探究の全体像を把握し、
課題意識を高めます。

③ 課題設定

課題を設定する



身近な生活と人工衛星の
関係を理解し、多様な
課題を発見・設定します。

④ ミッション選択

テーマを選ぶ



複数の社会課題から、
自分たちの探究テーマを
選択します。

⑤ 情報収集

情報を集める



すららSatellyzerなどの
ICTツールを活用し、
多様な情報を収集します。

⑥ 整理・分析

情報を分析する



集めた情報を整理・比較・
分析し、課題の原因や本質
を多角的に考えます。

⑦ 解決策検討

解決策を考える



人工衛星による課題解決策
を考察し、実現可能性を
多角的に検討します。

⑧ 構想

アイデアを形にする



解決策を具体化し、
構造や仕組みとして、
整理します。

⑨ 省察・振り返り

学びを振り返る



探究過程を振り返り、
改善点や新たな課題を
見つけます。

⑩ まとめ・表現

成果を発表する



探究成果を発表し、
仲間と共有することで、
学びを深めます。

この探究で
育てたい力



主体性・探究心
自ら問いを立て、
主体的に学ぶ力



課題発見力
課題を見つけ、
解決につなげる力



情報活用力
ICTを活用して
情報を収集・分析する力



協働力・コミュニケーション力
多様な人と協働し、
考えを伝え合う力



表現力・発信力
自分の考えを
わかりやすく伝える力



省察力・自己調整力
振り返り、学びを
次につなげる力



宇宙をきっかけに、社会を見つめ、未来をつくる力を育てます。



茨城県立石下紫峰高等学校

火星に『常総市』を作ろう。

～探究の集大成を、未来の自分へつなぐ～

石下紫峰高校 3年次の「総合的な探究の時間」

3年間の探究活動や学校行事で得た経験を振り返り、自己理解を深めます。
そしてその学びを、火星に「常総市」を作るというテーマのもと、
将来の自分や社会とつなげて表現します。

3年次の探究

火星に「常総市」を作る
というテーマで、
未来のまちを構想し、
自分の将来とつなげる

探究のプロセス（3年次）

① 導入

振り返りの意義を知る



3年間の探究や行事の経験を振り返ることの意義を知り、火星に「常総市」を作るというテーマを理解します。

② 経験の棚卸し (事実の整理)

これまでの探究や行事経験を時系列や分野ごとに整理し、「何を経験したか」を具体的にまとめます。



これまでの探究や行事経験を時系列や分野ごとに整理し、「何を経験したか」を具体的にまとめます。

③ 意味付け・価値化 (自己理解)

経験を通して得た力・価値観・課題を言語化し、自分自身の成長や強みを深く理解します。



経験を通して得た力・価値観・課題を言語化し、自分自身の成長や強みを深く理解します。

④ 将来との接続 (学びと将来をつなぐ)

探究で得た学びや価値観を、学問・職業・社会課題と結び付け、将来の自分を具体的にイメージします。



探究で得た学びや価値観を、学問・職業・社会課題と結び付け、将来の自分を具体的にイメージします。

⑤ 表現への転換 (文筆化)

志望理由書・面接・小論文を想定し、自分の考えや思いを論理的な文章としてまとめます。



志望理由書・面接・小論文を想定し、自分の考えや思いを論理的な文章としてまとめます。

⑥ 表現のブラッシュアップ (改善)

書いた文章を見直し、第三者の視点を取り入れて、伝わりやすくよりよい表現に改善します。



書いた文章を見直し、第三者の視点を取り入れて、伝わりやすくよりよい表現に改善します。

⑦ 相互評価・フィードバック

クラスの仲間と文章や発表を評価し合い、フィードバックを通して考えをさらに深めます。



クラスの仲間と文章や発表を評価し合い、フィードバックを通して考えをさらに深めます。

⑧ 総括・省察 (学びの統合)

3年間の学びと成長を総合的に振り返り、今後の目標や大切にしたい価値観を整理します。



3年間の学びと成長を総合的に振り返り、今後の目標や大切にしたい価値観を整理します。

⑨ 成果のまとめ (表現)

探究の成果を発表し、自分の考えや未来のまちのビジョンを他者に分かりやすく伝えます。



探究の成果を発表し、自分の考えや未来のまちのビジョンを他者に分かりやすく伝えます。

⑩ 未来への展望 (次の一歩へ)

火星に作った「常総市」を未来の自分や社会につなげ、次の一歩を踏み出す決意を固めます。



火星に作った「常総市」を未来の自分や社会につなげ、次の一歩を踏み出す決意を固めます。

この探究で
育てたい力



主体性・探究心
自ら問いを立て、
主体的に学ぶ力



振り返り力・自己理解力
自分の経験を整理し、
意味付ける力



関連付け思考・将来設計力
学びを将来や社会と
つなげて考える力



表現力・論理構成力
考えを論理的にまとめ、
伝える力



協働力・コミュニケーション力
他者と意見を交換し、
学びを深める力



省察力・自己調整力
学びを振り返り、
未来に活かす力

火星に「常総市」を作る探究を通して、自分の未来と社会の未来をつなげる力を育てます。



茨城県立石下紫峰高等学校